

平成25年度 富士見町当初予算

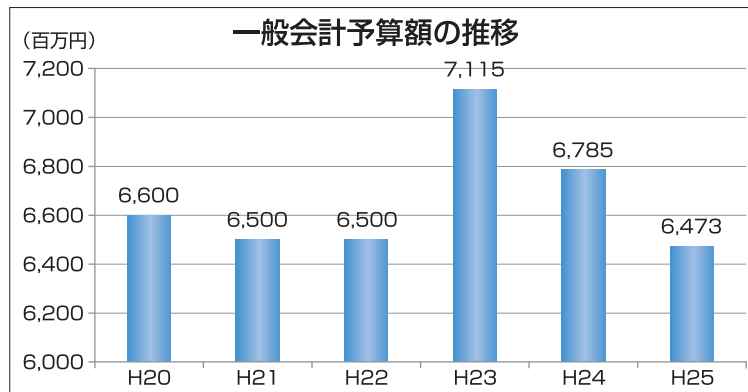
～安心・安全のまちづくり～

一般会計 64億7,300万円

過去の戦略投資の実りを収穫する年です

- H23は、福祉施設建設に投資しました
- H24は、公共施設耐震対策に投資しました
- H25は、引続き安全対策を継続します

前年や前々年と比較すると大幅な減額に思われますが、平成23年度は町内2ヶ所の福祉施設建設工事、平成24年度には町民センターの耐震工事等があり、一時的に経費が増加しています。本年度も、安全対策のための事業を継続しますが、新規大型投資のない、通常レベルの予算としました。

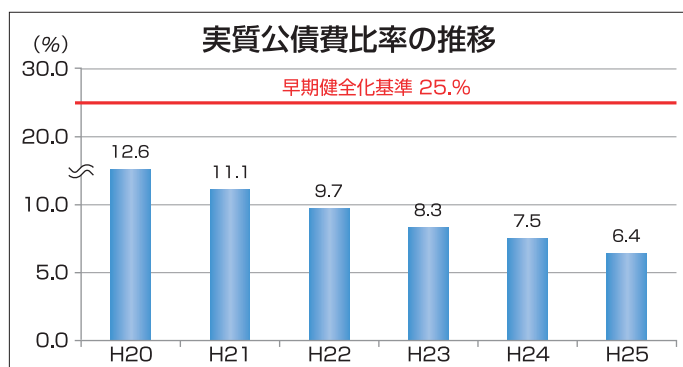


左の図は、過去5年間の一般会計予算額の推移です。平成25年度の予算額は、前年比、約3億1千万円(4.6%)の減額となります。

財政健全化指標による財政規律の確認!

・ 実質公債費比率=6.4%を見込む!!

町の財政規律をはかる指標のひとつに「実質公債費比率」があります。これは、一年間の収入に対する公債費(借入金返済費用)の占める割合で、数字が小さいほど借金が少ないこととなります。また、一定基準(早期健全化基準≒25%)を上回ると町債の発行(借入金)が国により制限されてしまいます。過去5年間の推移を見ても、公債費の比率は少なくなり、健全な財政といえます。



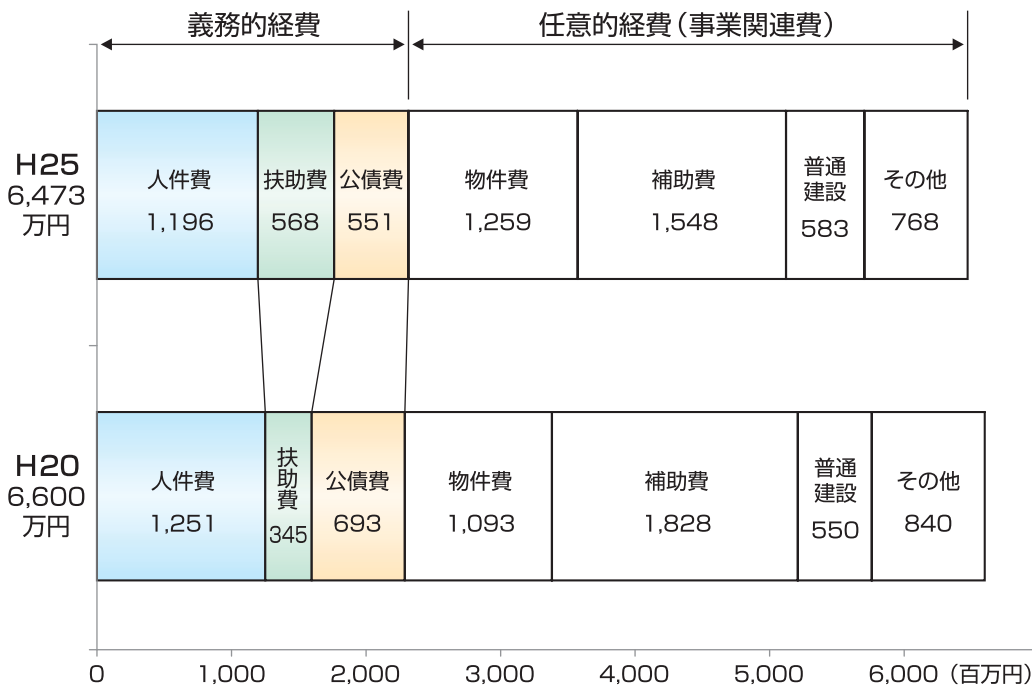
※H20～23は確定値、H24、25は見込値で示しています

健全な財政
運営を続けます

社会保障費・子育てなどの「扶助費」が増加傾向

・人件費・公債費の削減により予算確保!!

性質別経費の比較



町の支出を性質に着目して分類したもので、「人件費」や「普通建設費」などに分けられます。そのうち、任意に削減することのできない経費のことを『義務的経費』といいますが、この割合が小さいほど、財政に弾力性があるといえます。

町の支出、性質別経費とは？

左の図は5年前の性質別経費の比較ですが、人件費や公債費が減少する一方で、扶助費が増加していることが分かります。

扶助費とは？ 社会保障制度の一環として、児童・高齢者・障害者・生活困窮者などに対して国や県、町が行う支援に要する経費です。

平成25年度の主な取り組み

☆安心安全のまちづくり

- ・災害対策本部となる役場庁舎外壁工事 …… 1億1,500万円
- ・第2次避難所となる町民センター改修工事 …… 6,500万円
- ・百々川の河川改修工事 …… 4,300万円
- ・防災ガイドブックを兼ねたハザードマップ作成 …… 600万円

☆農業の復活

- ・農作物を守るための有害鳥獣駆除 …… 4,600万円
- ・災害に強い森づくり
森林間伐に対する補助 …… 900万円

☆福祉の充実、子ども支援の強化

- ・福祉のまちづくり
地域支え合いマップの作成 …… 900万円
- ・英語教育の充実など
「教育の町推進事業」 …… 1,600万円

☆観光の充実

- ・ハヶ岳創造の森周辺の整備と植栽 …… 1,500万円
- ・多摩市のアンテナショップ運営 …… 700万円
- ・地域の食材を活かしたグルメサミット …… 200万円
- ・入笠湿原歩道整備信州森の小径整備事業 …… 500万円

平成25年度 特別会計・企業会計予算額

| 会計名 | H25予算額 | 前年比較 |
|----------|------------|-----------|
| 国民健康保険 | 15億5,800万円 | 1億2,300万円 |
| 後期高齢者医療 | 1億5,160万円 | 160万円 |
| 観光施設貸付事業 | 2億8,011万円 | 同額 |
| 富士見財産区 | 1,650万円 | △430万円 |

| 会計名 | H25予算額 | 前年比較 |
|------------|------------|-----------|
| 本郷・落合・境財産区 | 3億5,000万円 | △2,300万円 |
| 乙事財産区 | 600万円 | △300万円 |
| 水道事業 | 8億3,240万円 | 200万円 |
| 下水道事業 | 18億2,615万円 | 2億0,755万円 |